

県高校総体代替大会

陸上

<p>▽1000級 ①島田開伸 (浜松湖東) 10秒54 ②赤堀 (東海大翔洋) 10秒80 ③山本 (東海大翔洋) 10秒84 ④戸上 (池新田) ⑤齋藤 (知徳) ⑥増田 (静岡西)</p> <p>▽400級 ①佐竹結月 (日大三島) 47秒94 ②タナカ (磐田北) 48秒14 ③平野 (磐田北) 48秒21 ④勝沢 (常葉大菊川) ⑤桑原 (磐田北)</p>	<p>⑥高橋 (蕪山) ⑦兵藤 (浜松湖東) ⑧藤枝 (藤枝明誠) ⑨ユタ (東海大翔洋) ⑩3分58秒77 ⑪杉浦 (藤枝明誠) ⑫4分0秒11 ⑬松浦 (浜松西) ⑭4分0秒24 ⑮柘植 (浜松日体) ⑯杉本 (島田) ⑰伊藤 (浜松商)</p> <p>▽1100級障害 ①山田一稀 (富士宮北) 14秒72 ②富田 (小笠) 14秒85 ③千葉 (浜名) 14秒89 ④佐々木 (浜松商) ⑤中沢 (浜名) ⑥白井 (東海大翔洋)</p> <p>▽3000級障害 ①中川力 (浜松商) 9分19秒40 ②窪田 (沼津東) 9分25秒94 ③浅倉 (富士宮西) 9分31秒88 ④大脇 (東海大翔洋)</p>	<p>⑤齋藤 (藤枝明誠) ⑥三藤 (浜松湖東) ⑦新田 (磐田北)</p> <p>▽400級リレー ①藤枝明誠 (藤枝明誠) ②藤枝明誠 (藤枝明誠) ③藤枝明誠 (藤枝明誠) ④藤枝明誠 (藤枝明誠) ⑤藤枝明誠 (藤枝明誠) ⑥藤枝明誠 (藤枝明誠) ⑦藤枝明誠 (藤枝明誠) ⑧藤枝明誠 (藤枝明誠) ⑨藤枝明誠 (藤枝明誠) ⑩藤枝明誠 (藤枝明誠)</p>	<p>▽1000級 ①岩井樹梨 (磐田北) 12秒12 ②小林 (沼津東) 12秒17 ③内山 (浜松市立) 12秒20 ④浦生 (浜松市立) ⑤久保田 (東海大翔洋) ⑥石井 (伊豆中央)</p>	<p>▽400級 ①室月里莉 (東海大翔洋) 55秒97 ②花 (東海大翔洋) 57秒98 ③寺原 (三島南) 57秒98 ④山本 (磐田南) 58秒86 ⑤森田 (浜松商) ⑥坂井 (浜松市立) ⑦秋田 (浜松南)</p> <p>▽1500級 ①兼子心 (浜松市立) 4分35秒14 ②齋藤 (伊豆中央) 4分39秒83 ③横道 (常葉大菊川) 4分40秒08 ④真田 (浜松商) ⑤宮津 (浜松開誠館) ⑥沖 (常葉大菊川)</p> <p>▽1000級障害 ①今田 (浜松湖東) 14秒49 ②坂口 (蕪山) 14秒52 ③野田 (伊豆中央) 14秒85 ④鈴木 (浜名) ⑤真田 (浜松市立) ⑥中村 (浜名)</p>	<p>▽砲丸投げ ①村瀬 (こ) ②荒井 (オイスカ) ③やい投げ ④田畑美羽 (磐田農) 48秒73 ⑤大会新 (磐田農)</p> <p>②馬場 (浜松商) 43秒64 ③池谷 (小山) 37秒25 ④杉本 (沼津西) ⑤松浦 (袋井) ⑥藤森 (浜松城北工)</p>
--	--	--	---	--	---



6投目、昨年全国3位の貫禄

田畑美羽 磐田農 大会新で連覇

昨年の全国総体3位の貫禄を見せつけた。女子やり投げの田畑は、2位に5分以上の差をつけ、昨年の県総体に続いての優勝。けがの影響で本調子ではなかったが、最終6投目に大会新記録をマークした。

昨秋の県新人大会で右肘を痛め、今もリハビリが続く。5月からソフトボールなど300メートルの軽いものを投げ始め、本格的に練習を再開したのは5月下旬。「投げるのに恐怖心があった」と予選は気持ちの整理に時間がかかった。だが、上位8人による決勝は徐々に調子を整え、「決勝から」気持ちを整え、思い切り腕を振り切れたと収穫があった。

今年の全国総体はエコパスタジアムで行われるはずだったが、新型コロナウイルスの影響で中止。10月の代替大会「全国高校陸上競技大会2020」(広島)の開催が決まり、3年生の田畑にとって新たな目標ができた。「まだまだ記録は伸びる。50以上を投げて優勝したい。日本一を目指す挑戦は続く。」

(青木功太)

女子やり投げ決勝 大会新で優勝した田畑美羽 (磐田農) =エコパスタジアム

深沢 (東海大翔洋) V 高1 歴代記録更新

男子走り幅跳び

東海大翔洋勢で優勝を争った男子走り幅跳びは、1年生の深沢に軍配が上がった。全国の高校1年の歴代記録(7.55)を2年ぶりに更新。「目標にしていた記録。ここまで跳べるとは思わなかった」と驚いた。

部活動自粛期間が明けてからは、助走の加速動作を改善してきた。「今までは踏み切りの力に頼っていたが、良い感覚だった」。5回目で1学年上の北川を抜き、トップに立った。

山梨県早川町出身。昨年の国体少年男子Bで2位入賞した北川に憧れ、全校生徒20人の小さな中学校から進学した。182センチの長身を生かした跳躍に、菅間監督も「元々持っているバネがすごい。期待以上」と絶賛。深沢は「高校3年で日本高校記録(8.12)を超えたい」と言葉に力を込めた。



1年生ながら男子走り幅跳び決勝を制した深沢瑞樹 (東海大翔洋) =エコパスタジアム